

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【公表番号】特表2009-544647(P2009-544647A)

【公表日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-521209(P2009-521209)

【国際特許分類】

C 07 C 4/06 (2006.01)

C 07 C 11/04 (2006.01)

C 07 C 11/06 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 4/06

C 07 C 11/04

C 07 C 11/06

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月13日(2010.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも25重量%のC5+パラフィンを含むフィードストックを結晶質ケイ酸塩触媒を収容した反応装置を通過させてプロピレンを含む流れを生産することを特徴とする、炭化水素フィードストックを軽質オレフィンを含む流れに変換する炭化水素フィードストックの転換方法。

【請求項2】

C4+パラフィンを含むC4+炭化水素フィードストック・カットに、少なくとも一種のC6+パラフィンを加えて炭化水素フィードストックを形成する段階をさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

上記の少なくとも一種のC6+パラフィンが少なくとも一種のC6~20直鎖パラフィンを含む請求項2に記載の方法。

【請求項4】

炭化水素フィードストックが1~80重量%の少なくとも一種のC6+パラフィンと、20~99重量%のC4+パラフィンを含むC4+炭化水素フィードストックカットとから成る請求項2または3に記載の方法。

【請求項5】

炭化水素フィードストックが少なくとも一種のC4+オレフィンを含む請求項1~4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

結晶質ケイ酸塩が珪素/アルミニウム原子比が120~1000であるMFI-タイプまたはMEI-タイプの結晶質ケイ酸塩である請求項1~5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

MFI - タイプの結晶質ケイ酸塩wシリカライト (silicalite) から成る請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

炭化水素フィードストックを反応装置入口での温度を500～600にして結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

炭化水素フィードストックを液体空間速度 (LHSV) を5～30 h⁻¹にして結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項1～8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

炭化水素フィードストックを0～2バールの圧力で結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項1～9のいずれか一項に記載の方法。